

令和6年能登半島地震 コープいしかわが取り組んだこと



この度の地震で被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。発災直後からコープいしかわが組合員のため、職員のため、そして地域社会の一員として取り組んだことをご報告します。(1月23日現在)

1月1日(月)にマグニチュード7.6、最大震度7となる「令和6年能登半島地震」が発生しました。犠牲となられた皆さまにお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

県内全域で多くの方が被災し、特に能登地域で甚大な被害が発生しました。被災された皆さまの日常生活への影響は計り知れず、一日も早く皆さまの日常生活を取り戻すために、コープいしかわも組合員への支援、地域の一員としての支援に全力を挙げて取り組んでいます。

コープいしかわでは発災直後に災害対策本部を立ち上げ、役職員の安否確認を進めました。大変残念ながら2名の職員が帰省先で尊い命を失うこととなりました。本当に無念でなりません。心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

災害対策本部では、のとセンターをはじめ各施設の被害状況の確認を行ってきました。また道路状況や商品の納品状況などの情報収集も同時に進め、事業継続に向けた対応・対策に現在もあたっております。七尾市、羽咋市、中能登町、志賀町は1月10日(水)から配送を再開しています。しかしながら輪島市、珠洲市、穴水町、能登町では、道路状況などから配送を見合わせており、一日も早い配送再開に向けて準備を進めています。

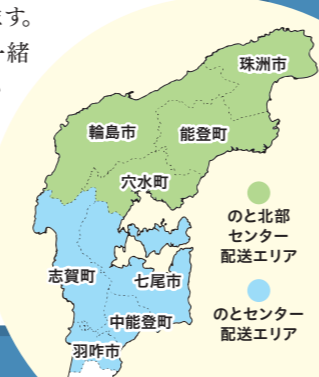
コープいしかわでは、現在も余震や停電、断水が続く不安な中で暮らしている皆さまに少しでもお役に立つことができるように、日本生協連やコープ北陸事業連合、お取引先様のご協力を得て、行政からの要請に応え支援物資をお届けしています。

こうした中、コープいしかわだけで取り組みを進めるには残念ながら限界がありますが、日本生協連に支援の要請を行い、福井県民生協、とやま生協をはじめ全国の生協の職員が支援に駆けつけて来ています。配送を再開したのとセンターでは、コープいしかわの担当者と支援の職員が2名体制で配送することで、安全を確認しながら商品のお届けができています。

いつの日か必ず、組合員と役職員そして地域の皆さまが「笑顔」を取り戻すことができるように、皆さまと一緒に「心をひとつにして」「力を合わせ」「知恵を出し合い」地域社会や組合員の期待に応えていきたいと思えます。

最後になりますが、たった一つのかけがえのない命を守ることが何より大切です。コープいしかわは、組合員、役職員、地域の皆さまの命を守ることを最優先にこれからも寄り添い続けてまいります。

生活協同組合コープいしかわ 理事長 大谷 学 (1月19日記)



宅配再開に向けて

- 1月1日(月)** 災害対策本部立ち上げ 職員の安否確認や被害状況の把握に努めました。
- 1月6日(土) 7日(日)** 能登エリアの組合員へ電話連絡
のとセンターの月曜・火曜コースの組合員と、のと北部センターの組合員、内灘町の組合員へ電話をかけ、安否確認と配送中止のお詫びをしました。
- 1月8日(月) 9日(火)** 地域担当者が訪問
のとセンターの地域担当者が組合員の安否確認とカタログ配布、道路状況の確認のため、2~3名体制で担当地域をまわり、組合員宅を訪問しました。
- 1月10日(水)** のとセンターエリアでの配送開始

カタログの配布や訪問時に、配送できなかった商品の一部である飲料水、バナナ、パン、みかんをお渡ししました。高齢であったり避難所が遠かったりなどの理由で給水所へ行けない組合員さんへは、訪問時や配送時にコープの飲料水をお渡ししました。

商品をお届けすることができず申し訳ないと思いがらの配達でした。その中でもパンをお渡しすると「本当に助かる、ありがとう」と言われ、心が軽くなります。「気をつけてね」の一言で本当に頑張ろうと思います。今こそお互いに支え合っていきたいと強く思います。
のとセンター 越野 遼太郎さんの1月9日(火)振り取りシートより

県内全域の組合員さんから届く自宅前の道路状況画像

宅配事業では大雪や台風などの際に、組合員に安心して商品を受け取っていただくことや地域担当者の安全確保を目的に、組合員より自宅前の写真投稿を受け付けし、情報収集・状況把握を行っています。1月2日(火)以降、全県エリアの300名を超える「風水害雪害報告モニター」組合員から自宅前の道路状況を投稿いただいています。

のと北部センターエリアでの配送再開に向けて現地調査などを進めています。

のとセンター職員のために

被災した職員への支援として飲料水や携帯トイレ、水のいないシャンプー、ボディシート、ヘルメットや衣料品をのとセンターへ送っています。コープいしかわ独自の支援制度や公的支援情報をまとめた冊子を作成し少しでも早く普段の暮らしに戻れるように支援しています。



▲ 隆起したのとセンター 断水が続いています

全国の生協の仲間から

発災直後から全国の生協から多くの励ましや支援をいただき、石川の組合員と職員を支援するため駆け付けてくれました。1月6日(土)より日本生協連の危機管理担当者が災害対策本部に常駐しています。8日(月)には福井県民生協から10名、10日(水)には日本生協連から20名の職員がのとセンターに入りました。1月15日(月)からは全国の生協から毎週約30名の職員がのとセンター・湊センターでの配送同乗や組合員への電話がけなどを行っています。



▲ のとセンターの朝礼に参加する応援者



▲ 電話対応の説明を聞く応援者の皆さまさまざまな生協の制服が並びます



▲ みやぎ生活協同組合からの応援の色紙

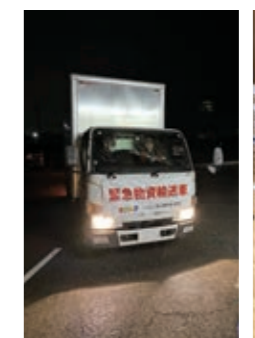
支援いただいた生協(1月22日現在)
福井県民生協、とやま生協、コープさっぽろ、いわて生協、みやぎ生協、共立社、とちぎコープ、いばらきコープ、コープぐんま、コープみらい、ユウコープ、パルシステム山梨 長野、パルシステム千葉、パルシステム静岡、コープながの、コープあいち、コープみえ、コープしが、京都生協、大阪いずみ市民生協、コープこうべ、おかやまコープ、コープやまぐち、コープかがわ、エフコープ、コープ共済連
今後も多くの生協から支援のお申し出をいただいています

地域の一員として

災害時支援協定に基づき物資の調達

お届け日	行政名	お届け内容
1月4日(木)	金沢市	おにぎり200個、500ml飲料水5ケース
1月4日(木)	かほく市	おにぎり150個
1月4日(木)	中能登町	おにぎり1,000個、500ml飲料水45ケース
1月4日(木)	穴水町	2ℓ飲料水80ケース
1月4日(木)	七尾市	2ℓ飲料水合計260ケース
1月5日(金)		
1月4日(木)	宝達志水町	2ℓ飲料水合計80ケース、ブルーシート100枚
1月5日(金)		
1月12日(金)	珠洲市	パン約6,000個、インスタントスープ約1,170ケース
1月17日(水)~	野々市市	野々市市への避難者用おにぎりとおパンを毎日約100個
1月18日(木)	能登町	インスタントスープ約250ケース、ブルーシート48枚
1月19日(金)	輪島市	パン約6,000個、カセットコンロ用ガスボンベ480本

コープいしかわでは県内全市町と災害時支援協定を締結しています。物資を宅配トラックを使用して、要請のあった市町へお届けしています。要請のあった物資以外にもコープいしかわが提供しているものもあります。



▲ 1月12日(金)朝5時に珠洲市に向けて出発



▲ 珠洲市健民体育館に到着すると自衛隊などの方が支援物資を降ろしてくれました

お届けできなかった商品を子ども食堂へ

配送中止によりお届けできなかった冷蔵商品や野菜、卵といった生鮮品をいしかわフードバンク・ネットを通して子ども食堂へお渡ししました。子ども食堂ではフードパントリー(食料品配布)などで活用いただきました。

能登半島地震災害支援募金 受付開始

店舗では1月5日(金)から、宅配事業では1月10日(水)から「令和6年能登半島地震災害支援募金」を呼びかけています。



▲ 1月18日(木)能登町の柳田体育館へ支援物資をお届け